

信学会 教育方針

子どもたちの主体的な学びと 他者との関わりで生まれる経験を通して  
生涯にわたり自ら学び続ける人間を育てる

信学会安茂里幼稚園では、子どもたち一人ひとりが遊びの中での様々な経験を通して  
自ら ひとものこと とつながり 自ら学び、自分の力として育つ姿を支えています。

信学会安茂里幼稚園 教育目標

『みつけよう やってみよう かんがえよう』

目指す子ども像

『遊んでわくわく 大好きいっぱい 心も体も大きくなあれ』



夢中になって遊ぶ子



具現するための実践



楽しむ  
好きになる

話す  
伝える

感じる  
表現する

関わる  
協力する

考える  
工夫する

遊びから生まれる  
夢中に出会う

育てる

作る

見つける  
探す

調べる

動かす  
挑戦する



<大切にしたいこと>

- 一人ひとりが「愛されている」と実感し、自分を好きになり、安心して生活する
- 子どもたちが「やってみたい」ことを実現し、心を動かす多くの体験をする
- 子どもたちの遊びの「環境・時間・場所」を保障することで、心が満たされる

心も体も開放して遊ぶ・自然の中で四季を感じる・好きなことから創意工夫・探求をする  
異年齢交流で思いやりや憧れの気持ちを育む・学びにつながる継続した遊び を実践します

## <教育目標について>

### ○教育目標への思い○

幼児期において『遊びは学び』となります。子どもたちは遊びを通して、じっくりと取り組むこと、考えたり工夫したりすること、友だちと共同すること等、様々なことを経験し自分の力へと変えていきます。

一人ひとりが遊びに夢中になることで、子どもたちは自ら経験するプロセスで学びや自分の力としていきます。私たち大人が与える知識だけではなく、自分で経験するからこそ、自分の力になっていることを自ら感じるができるプロセスは、一人ひとりの育ちの歩みでもあります。

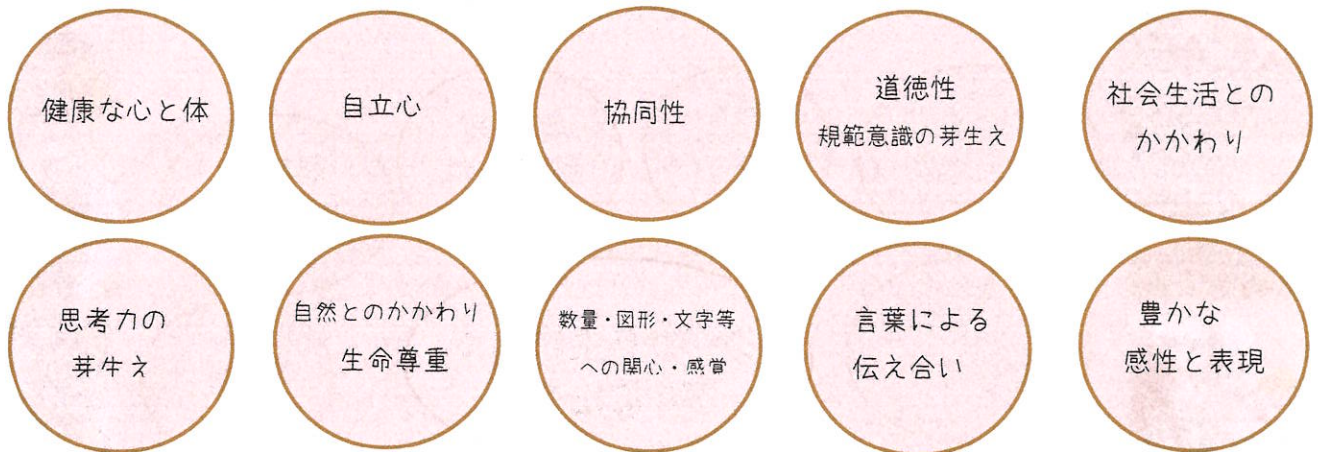
私たち信学会安茂里幼稚園では、子どもたちが「好きなこと・やってみたいこと」を見つけて夢中になって遊ぶことで、自分の思いを伝えてのびのびと遊ぶ、興味関心への探求や創意工夫、友だちとの共同等、『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』の育ちにつながると考えています。

そして、自ら「ひと・もの・こと」とつながり、未来に向かう子どもたちの生きる力の基盤が育つこと願っています。

### ○保育の中で大切にしたいこと○

- ① 子どもたちが「愛されている」と実感し、「自分を好きになり自分を肯定する」ことで、遊びをはじめとする物事や、他者との関わりに安心して取り組めるようになります。
- ② 「やりたいこと」を実現する中で、五感で感じたり、不思議に思ったり、探求したりと、子どもたちの心を動くような経験をし、感性を豊かにしていきます。
- ③ 遊びが保証されることで（時間・場所・環境）心が満たされ、新たな経験に目を向け、より多くの「もの・こと・ひと」に関心をもち、遊びの世界が広がっていきます。

## <幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿>



## <保護者の皆さまへ>

子どもたちと生活をしていると、私たちが「あたりまえ」だと思っていることがすべてではないと気付かされることがたくさんあります。3歳～6歳になる小さな子どもたちですが、一人ひとりが自分なりにしっかりと思いをもって行動しています。その思いをしっかりと受け止め共感し、共有していくことが『子ども主体（子どもの権利を尊重した）』保育につながっています。

私たちは子どもたちの育ちを支えるだけでなく、子どもたちの育つ姿から多くのことを学ばせてもらっています。保育者と子どもたちの関係も「共育ち」です。

そのような子どもたちの思いや育つ姿を保護者の皆さまとも共有し、支え合い、喜び合い、共に育ち合う「共育ち」の関係でありたいと思っています。

ご家庭でのお子さんの様子もぜひ、お話してください。よろしく申し上げます。